

事務事業名	市道免別線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	内田 貴宏	電話番号(内線)	0854-40-1063
基本事業名		(018)生活道路の新設・整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業	01 4 0 1 0 1 5 0 2	3740

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(16年度~26年度)	本路線は、雲南市大東町下佐世地区に位置し主要地方道松江木次線から、市道立南線、前原十日市線及び宍道線を経て松江市宍道町へ連絡する路線である。本路線の幅員は3~4mであるため、普通車輛のすれ違いや緊急車輛等の大型車がスムーズに通行することが困難である。そのため、道路幅員を9mの2車線に拡幅し交通の利便性を向上させる事業である。	現地は左記の状況であることから、以前より地域住民から強い要望があった。そのため、平成16年より改良事業が開始された。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・用地補償 4,206千円(内22線 541千円) ・道路改良 34,163千円 ・その他経費 9千円(内22線 9千円) 合計 38,378千円(内22線 550千円)	事業内訳						
	国庫支出金	千円	23,140	24,940	27,365	65,000	120,640
	県支出金	千円					
	地方債	千円	17,500	12,460	13,400	15,700	268,160
	その他	千円					
	一般財源	千円		0	38	35	
	事業費計(A)	千円	17,500	35,600	38,378	43,100	100,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	2	2	2		
①業務委託と平行して、用地・補償に関する協議、交渉 ②実施設計を行い工事発注 ③現場管理(初年度以降は②からの繰返し)	延べ業務時間	時間	500	500	500		
	人件費計(B)	千円	1,907	1,944	1,971	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,407	37,544	40,349	43,100	100,000

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標							
	・用地補償 ・道路改良	ア 道路改良区間延長	m	200	200	400	380	180	2100
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 供用開始延長	m	200	500	500	880	1060	
	・支障物件補償 ・道路改良工事	ウ							
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥対象指標							
	ア 市民	人	41917	41159	41032	40650	40323		
	イ								
③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標								
	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	ア 改良済延長	m	200	400	240	380	180	
	イ 供用済延長	m	200	500	500	880	1060		
	ウ								
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	ア 道路改良率	%	55.5	55.7	55.9			
	イ 生活道路が安全で便利と感じる割合	%	58.9	57.1	55.7				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
逐次改良が進んでおり、地域住民の利便性は向上している。	過疎債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。また、平成22年度より社会資本整備総合交付金の交付を受けて実施している。	地元より、早期完成を求める声が多く寄せられている。

事務事業名	市道免別線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ すれ違いが円滑にできるようになることは、安全で利便性の高い道路の整備につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路認定されている道路である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路であるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地元の協力体制は整っており、用地買収に関しても反対者はいないため予算措置がなされれば工事延長を延伸することは可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現況は道路幅員が狭く安全性の確保が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 本路線では、過疎債を充当して実施しているが、これ以上有利な財源がないことまた、この起債も箇所別であるため、統合することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト削減に努めており、これ以上の事業費削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 関係機関及び用地等の関係者と密接に関わる必要があり、個人情報等も多く含まれるため不可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財政上の都合により、完了済み区間の舗装が次年度になり、道路利用者に対し通行規制等の不便が多く生じてしまった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
従来どおりの事業を行うには、過疎債の借入を受けることが必要である。																							